

わたしたちのくらしと 自然・生きもの

2 身の回りの環境

(1) 札幌の環境

① 札幌の自然

下の写真は、空の上から見た札幌です。あなたの学校はどの辺りかな？ 札幌の街の広がりや自然の様子は、どのような関係があるのかな？

公園の数は日本一！

全国の市町村と比べてみると、公園の数は札幌が一番です。



大通公園

国の天然記念物がある

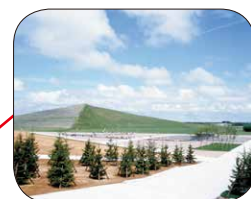
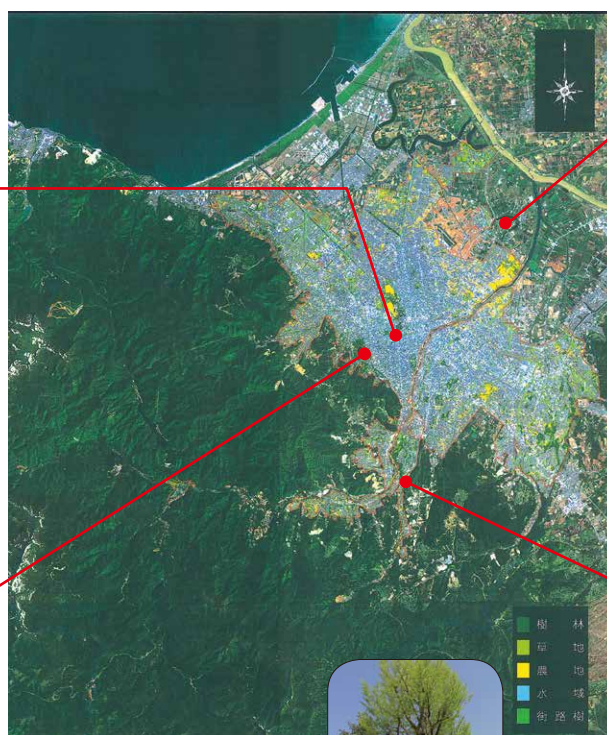
札幌の街の西側にある円山と藻岩山は、天然記念物に指定されています。街の中心に近い場所に、昔からの姿の森林が残されていることは、大変貴重なことです。



円山 (空撮)

都心のまとまったみどり

街の中心部にも大通公園や中島公園、北海道大学の植物園などのまとまったみどりの空間があります。



モエ沼公園

水とみどりが豊かな川

水の流れと川岸の木々なども大切な自然です。なかでも豊平川や創成川は、帯のようにつながって、街の中心部を流れています。



藻川公園

大自然とつながるまち

街の南西部には、藻岩山、砥石山などがあり、その奥の空沼岳、札幌岳、定山渓天狗岳、さらには豊平峡、中山峠へと豊かな自然がつながっています。



イチョウの木

まちを特徴づける保存樹木

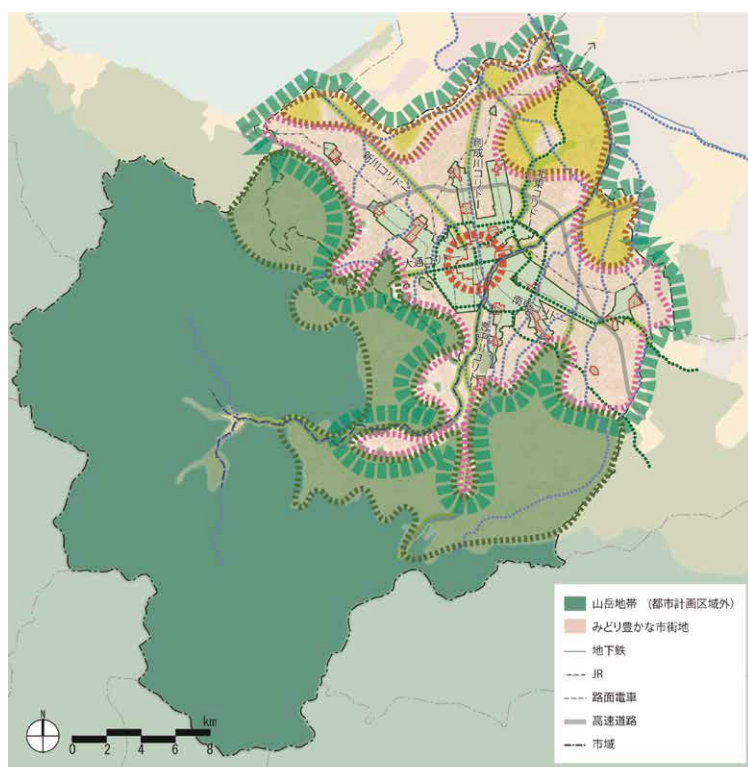
大切に守っていく木を決めて保存樹木としています。これらの木を保存することで、まちの景色に深みを加えています。



中央区から見た山並み

●みどりの基本計画

2020年に、現在の計画ができました。この計画は、現在のみどりの様子を知り、これらの自然をいかしながら、未来の札幌のみどりを守ったり、創ったりしていくことを目的としています。下の図は、札幌のみどりの将来像図です。



凡例

- 森林を知り活かすみどりのエリア
- 平地を守り活かすみどりのエリア
- 都心の魅力を高めるみどりのエリア
- 豊かな市街地を形成するみどりのエリア
- 緑化重点地区1 (集合型居住誘導区域)
- 緑化重点地区2 (都市機能誘導区域(地域交流拠点))
- 緑化重点地区3 (都市機能誘導区域(都心))
- 山並み
- 河川

- 骨格的なみどりのネットワーク
- 環状グリーンベルト
- コリドー
- 水を中心としたみどりのネットワーク
- 街路を中心としたみどりのネットワーク
- 山地丘陵地のみどり
- 平地のみどり

【ひと】

市民がみどりを守り育て、ふれあうための取組を活発にしていきます。



道路の樹花壇づくり (西区)

【自然】

森林・草地などの自然環境を適切に維持保全していきます。



森林保全活動の様子

【都市】

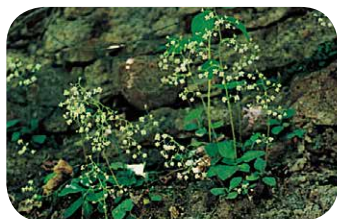
公園などのみどりで都市の安全・安心を高め、うおいや賑わいを創出していきます。



創成川公園

「札幌の地名」が付いている生き物を知っているかな？

札幌で発見され、市内の地名が付いている生き物がいます。これらは、札幌の自然の特ちょうと重要性を世界に発信するものですが、残念ながら数が減ってきたり、発見場所ではもう見られなくなってしまったものもあります。



ヤマハナ (山鼻) ソウ



トイシ (砥石) エンレイソウ



ジョウザン (定山) シジミ

写真提供：さっぽろ野の花の会 阿部美子さん、岡部美恵子さん

② 札幌の昔と今

昔の札幌

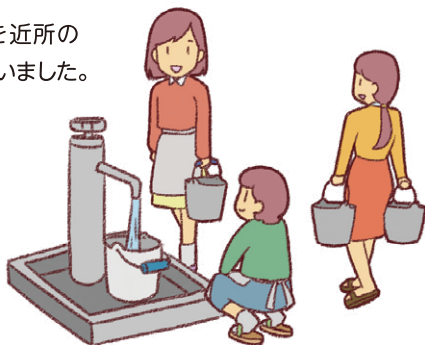
川

川を使っ^て、舟で物を運んでいました。また、水車を使っ^て米を精米したり、麦をひいたりしていました。大雨による川のはらん^をを防ぐ技術が進んでいなかったため、毎年のように洪水にな^らまされ、橋が流されてしま^うこともたびたびありました。



水道

一つの水道を近所のみんな^で使っていました。



ごみ

ごみの多^くは埋めたり燃^やしたりしていました。



下のアイコンを押して昔の札幌の様子を調べてみよう!

さっぽろの川と人々のくらし



さっぽろの水道



みんな知ってる? さっぽろの下水道



わたしたちのくらしと雪



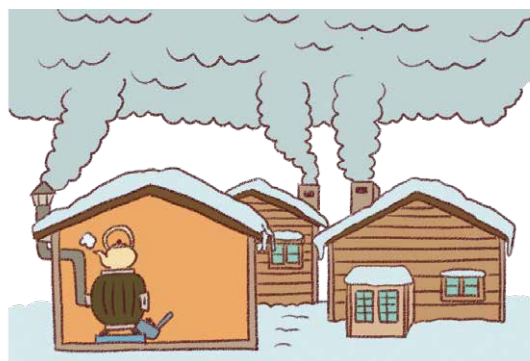
下水道

台所やせんたく^{ふろ}などに使^われた汚れた水は道路の側溝^{そくこう}や川に流していましたが、このころから、生活環境^{かんきよう}を良くするための下水道整備が始まりました。



空気の汚れ

暖^{だん}房^{ぼう}の燃料などに石炭が使^われ、冬の札幌は毎日のように黒いけむりにおおわれていました。



除雪

かんじきで雪を踏み固めたり、馬そりに三角形の板を取り付けていきおいよく馬を走らせて除雪しました。



今の札幌

川

川のはんらんを防ぐ技術が進み、^{かわはば}川幅も広がって、洪水になることはとても少なくなりました。橋もじょうぶになりました。



ごみ

^{しげん}資源とごみを分けて集めています。「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「大型ごみ」は有料で集め、清そう工場で燃やしたり、埋め立て地に埋めたりしています。びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチック、雑がみなどは資源として無料で集め、リサイクルしています。



水道

^{じょうすいじょう}浄水場で川の水をきれいにして、人々の所に送っています。そのおかげで、じゃ口をひねればすぐにきれいな水を安心して飲めるようになりました。

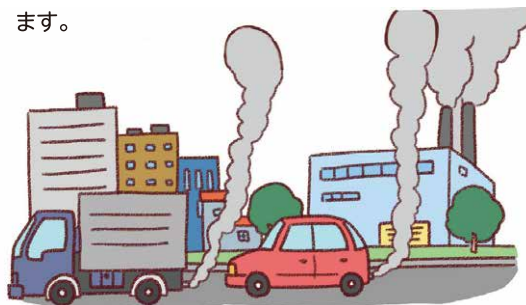
下水道

街に下水道ができて、ほとんどの人が下水道を利用できるようになりました。台所や水洗トイレ^{すいせん}で使われて汚れた水は、水再生プラザできれいにしてから川に流すようになったことなどから、街や川がきれいになり、川にはサケがのぼってくるようになりました。



空気の汚れ

札幌市の空気はきれいになりましたが、世界の中には自動車のはい出ガスや石油などを燃やす時に出てくるけむりによって大気汚染^{おせん}が問題となっている国もあります。



除雪

たくさんの除雪車が、それぞれの区ごとに除雪をして、いつでも車や人が通れるようにしています。

